



△キヤストして広範囲を探りたい



△アカカラゲがエサにまとわりついてくるからスポンジなどを用意しておくといい



△ハリを飲まれたらエラに指を入れてハリスを引っ張るとスポッと抜ける



▲シロギスはビギナーからベテランまで夢中になれる釣り



★東京湾のシロギスは間もなくトップシーズンを迎える



▲当日の釣り場は木更津沖。盛期になれば盤洲の8メートルダチでも釣れるようになる

東京湾奥葛西橋出船 撮影●鈴木良和 トップシーズン目前 東京湾のシロギス盛況



▶イシモチは定番ゲスト



▲仕掛けはテンビン、胴つきお好みで。オモリはいずれも15号



▲今のところ良型主体に釣れている
◀ダブルで掛かれは引き味も倍増



初夏を迎えて期待の高まるターゲットの一つがシロギス。とくに東京湾ではこれから盛夏へ向けて水深10メートルを切る浅場でだれでも手軽に楽しめるベストシーズンとなっていく。
取材した5月上旬はまだ本格化前といった状況だったが、木更津沖の水深15メートル前後を狙いトップは60尾オーバー。サイズも18〜20センチ前後とそろっており、本番へ向けての手応えはバッチリだった。
(詳細は56ページ参照)



●東京湾奥葛西橋・第二泉水
黒澤 正敏船長